

# 世田谷区パートナーシップ宣誓の取組み に関するアンケート調査結果

アンケート実施期間	平成 28 年 9 月 1 日～9 月 20 日
アンケート配付数及び回収数	37 組 74 枚配付、29 枚回収

## 1 パートナーシップ宣誓をしようと思ったのはなぜですか？

- ・日常の中に、多くのLGBTカップルがいて、普通に生活をしているという認知が広まってほしい。
- ・パートナーとこれからも一緒に生きていくことを誓う証として。また節目としてもいいと思った。
- ・公の証明として認めてもらいたかった。

## 2 パートナーシップ宣誓の前と後で、何か変化はありましたか？

- ・職場で同僚に、家族や友人達（セクシャリティ問わず）に祝福された。
- ・生命保険金等の受け取りを法定相続人からパートナーに変更出来た。
- ・宣誓を機に、会社にカミングアウトした。特に人事上の制度はないが、周囲に受け入れてもらえた。

## 3 パートナーシップ宣誓をしたことでよかったことはどんなことですか？

- ・区が行ったことにより、「LGBT」や「同性婚」という言葉が、一般的に浸透したように感じる。
- ・パートナーシップ宣誓の事を踏まえて自分たちのことを説明すると、伝わりやすく、伝えやすくなった。
- ・二人の関係（存在）を公的な立場の人に伝え、認知された。存在が認められて安心感を得られた。

#### 4 同性カップルであることが理由で生活上、困っていることはありますか？

- ・賃貸物件を借りにくい、家を買う時に共有財産として認めてもらえない。保険の受取人になれない。
- ・相手が外国人の為、配偶者ビザが出ないのが不安。
- ・職場でのカミングアウトが出来ない。企業にもLGBTの理解を求めたい。

#### 5 今後、区の施策・サービスとしてどんなことがあったらいいと思いますか？

- ・区営住宅に入居したい。同性カップルを理由に、賃貸を断られた。不動産業界への啓蒙活動強化。
- ・区民への周知にもっと力を入れてほしい。正しい理解と、病院や学校等での差別をなくしてほしい。
- ・学校での人権教育や図書館にLGBTの本を増やし、若い世代が相談をできる場を作ってほしい。
- ・同性カップルも対象のDV相談窓口やシェルターをつくってほしい。
- ・男女のパートナーと違う不当な扱いを受けた場合、正式なパートナーシップである事を伝えてほしい。
- ・渋谷区と同様、条例として正式に定めてほしい。
- ・住民票の写しの発行などでも、配偶者と同様に取り扱うべきだと思う。
- ・世田谷区から転出する際に、転出証明に加えてパートナーシップ宣誓証明を発行してほしい。
- ・LGBTを受け入れる医療機関を世田谷区のウェブサイトで紹介してほしい。
- ・子どもがほしい同性カップルの支援をしてほしい。

#### 6 パートナーシップ宣誓受領証をどんなことに利用しましたか？

- ・受領証を個人が特定できないようにして、SNSで周知した。
- ・知人、友人へのカミングアウト。世田谷区から転出した際、転入先役所で見せて理解を得た。
- ・利用していない。（同様意見他に23件）

#### 7 （何かに利用された方に伺います）相手方の反応はいかがでしたか？

- ・ポジティブな意見のコメントが多数あった。ネガティブな意見は全くなかった。
- ・会社には好意的に受け入れてもらえた。人事部に今後の社内規定改善に繋がりたいと言われた。

## 8 パートナーシップ宣誓は今後どうあるべきだと思いますか？

- ・渋谷区のような足を踏み入れづらいものではなく、実際に世にいる LGBT ファミリー・パートナーたちの存在と数を知ってもらうためには、世田谷区の制度は、いい落とし所だと思った。今のままでよい。
- ・これが全都道府県にいきわたり、そこから、渋谷区のような形が増え、婚姻につながればと思う。
- ・結婚と同等の内容まで保障されてほしい。宣誓制度を更に進化させて法的なものにしてほしい。
- ・病院での家族扱い、不動産（賃貸）などで、もっと区として公にサポートしてほしい。
- ・いつでも宣誓したい時に宣誓できると嬉しい。
- ・宣誓書のコピー等を渡したり、使用したくないので、携帯出来るものがあるといい。携帯版には、世田谷区の担当部署の連絡先を入れてもらい、相手先の確認等が出来るとうれしい。

## 9 パートナーシップ宣誓の取組みの信頼性向上のために、必要と思われるこ

### とはどんなことですか？（例；独身証明書、戸籍抄本等の提出）

- ・「宣誓」という形であれば、住所確認のみで良い。手続きが多くなれば、宣誓者が減少してしまう。
- ・普通の結婚と同じ書類の提出。また、戸籍抄本の提出が求められると信憑性があがると思う。
- ・男女の婚姻と同じように、サインをすればいいと思う。承認欄を作り、承認者（二人が書いてほしい人）にサインをもらう。または家族の誰かにサインをもらうなど。

## 10 その他、区に対する要望、質問事項等がありましたら、記入してください。

- ・少数派である私達の民意を、このような形で参考材料として頂ける区の姿勢に感謝します。世田谷区は、23区の中で、LGBT 等の人々にとっての先進的な自治体であることを願っています。
- ・パートナーシップ宣誓はとてもいい落とし所だが、さらに渋谷区のレベルのことも選べると嬉しい。
- ・私たちカップルは、世田谷区で他自治体に先駆けて同性パートナーシップが始まるということで他市から転入した。自治体にカップルとして認知されるとは考えてもみなかった。異性愛のカップルと同様にいつか婚姻関係が結べる日が日本にも来ることを願っている。
- ・プライバシーに関する事は今以上に配慮してほしい。

- ・近い将来の同性婚を望んでいるので、パートナーシップ制度利用者の公表や利用者の声などを積極的に広めてほしい。
- ・私達当事者の意見が世田谷区だけでなく、国に対しても迅速に反映してもらえることを祈っている。
- ・この制度が長く続くことを希望する。
- ・区役所だけでなく、出張所などでも手続きが出来るといい。
- ・小・中・高等学校でL G B T教育（L G B Tでも良い、嫌がらせはダメ）をして欲しい。
- ・世田谷区の誰もが当たり前のことであるかのように、このパートナーシップ宣誓が存在してくれればいい。
- ・区から都へ、都から国へのL G B Tへの最低限の理解及び公的な認知を広げてもらいたい。
- ・区の職員募集でL G B Tの採用をお願いしたい。
- ・かなりの数の性的少数者が世田谷区に住んでいることを念頭に、行政運営をして頂けると嬉しい。
- ・民間企業のサービス向上を働きかけてほしい。